



『危険かな?』を実感してもらうために ～ “Jアラート”サイレンの体験から ～



今週は、保育室ごとに「弾道ミサイル飛来に伴う対応」の一つとして、「Jアラートのサイレンが聞こえたらどうすればいいか」について指導しています。【左写真】

サイレンの音は、日本政府発表の『これを耳にした誰もが自身に武力攻撃という危機的状況が迫っていることを認識できるよう、あえて不快感や警戒心といった自己防衛本能を呼び起こす音にした』のとおり、小さな子どもは、この音を聞いただけで萎縮してしまう

かもしれません。

そこで、子どもがサイレンの音をきいても驚かないよう、まず担任が「この変わった音を聞いてみましょう」と言って、サイレン音を聞かせました。そして、「一人や友だちと一緒にこの音を聞いたなら、すぐに家の中に駆け込むこと」と指導しました。

これからも、ミサイルに限らず、竜巻や火災地震等でもとっさに自分の命を守る意識が育つよう引き続き安全教育を行ってまいります。

なお、「登園・降園中の対応」については、市内小中学校のように、緊急メール配信・ホームページでの情報発信ができませんので、9月11日付け文書『Jアラートによる緊急情報伝達があった際の対応について(依頼)』でお知らせした内容でお願いします。

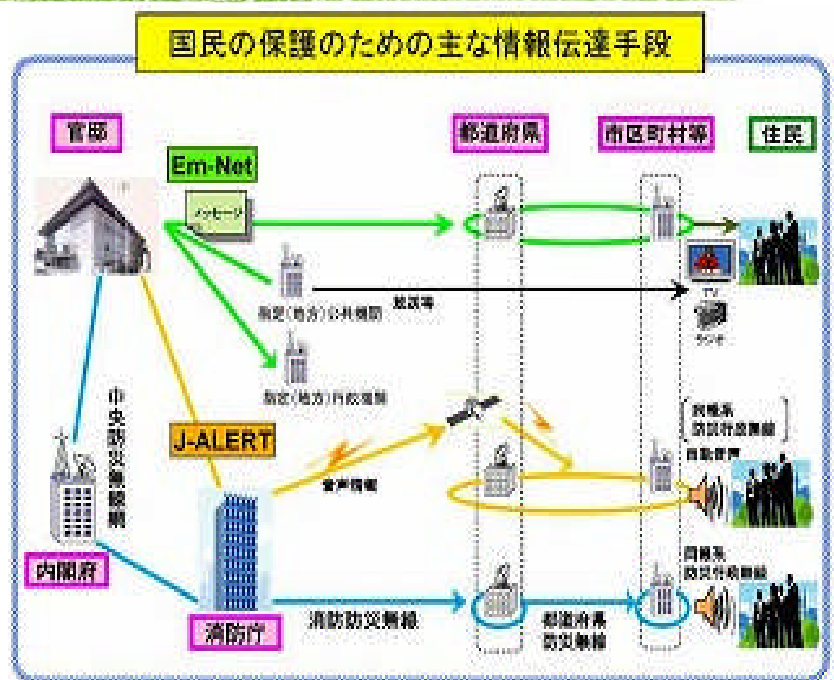
※ 保育中に緊急事態が発生した時のお子さんの引き渡し方法は、どの状況でもすべて共通です。保護者やご家族の方が迎えに来るまで、何時までもお子さんをお預かりします。

<<参考>> 「Jアラート」とは

日本政府が運営する『全国瞬時警報システム』のこと。

政府は、仮に北朝鮮から発射された弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合には、24時間いつでも「Jアラート」を使用し、緊急情報を伝達する仕組みを整えた。北朝鮮が予告することなく弾道ミサイルを発射した場合には、政府としても、事前にお知らせすることなく、Jアラートを使用することになる。

Jアラートを使用すると、市町村の防災行政無線等が自動的に起動し、屋外スピーカー等から警報が流れる他、携帯電話にエリアメール・緊急速報メールが配信される。



【 HP「内閣官房 国民保護ポータルサイト」 より】